古賀市海津木苑運営委員会（令和３年度６月期）　　会議録

1.　日　時：　　令和３年６月30日（水）15時00分　開会
2.　場　所：　　古賀市海津木苑　会議室

3.　出席委員（13名）

委員長	結城　弘明	副委員長	安武　正一
委員	智原　和子	委員	簑原　弘二
委員	内場　恭子	委員	清原　秀則
委員	清原　透	委員	三好　貴一
委員	三好　収	委員	森　里子
委員	横田　昌宏	委員	河北　吉昭
委員	星野　孝一		

4.　欠席委員
　内平委員

5.　傍聴者数
　なし

6.　事務局出席職員職氏名

市民部長	清水　万里子	環境課長	智原　英樹
海津木苑長	吉田　義昭	海津木苑係長	国本　勝喜
海津木苑職員	三好　英明		

概要

１５：００　開会

1.　古賀市あいさつ
2.　委員長あいさつ
3.　協議事項及び報告

１）会議録について（事務局より説明）

（１）４月期運営委員会会議録について　資料.１

（２）６月期運営委員会会議録署名人について（事務局より説明）

【質疑・意見】なし

２）　海津木苑運営に関する実施状況（事務局より説明）

（1）令和３年度４月及び５月の処理状況について　資料.２

【質疑】

委員　：　５月分の処理量について、搬入日数が１８日と少なくなっているところで、水道料金や電気料金、合計が暫定の数字であるが、汚泥運搬料金や古賀清掃工場への汚泥搬入量等が少なくなっており、１kl 当たりの費用が安くなっている。とても良いことであるが、季節的な要因なのか。それともコロナの影響なのか。見解を聞かせてほしい。

【答弁】

海津木苑長　：　５月の搬入日数が少ないのは、ゴールデンウイークの祝日があったため、搬入日数が少なくなっている。

電気料金等もゴールデンウイークの祝日があり、し尿等の搬入日数が少なかったことから、施設の稼働時間が少なくなっている関係で、電気の使用量が少なくなり、料金が安くなっている。

汚泥運搬料金や古賀清掃工場への汚泥搬入量等が少なくなっている理由は、夏場に向け処理槽の SS 濃度を低くして運転を行っている。そのため、汚泥脱水運転を行い、SS 濃度を管理している。SS 濃度が目標値に達したため汚泥脱水運転回数が少なくなり、金額が抑えられている。コロナの影響ではない。

【意見】

委員　：　暫定数値が入っているので、確定した数値がわかったら、教えてほしい。また、処理量や処理費用が減ってきているときは説明をしてほしい。

(2) 令和２年度年間処理状況 (水道使用量確定分) 資料 (事務局より説明)

【質疑・意見】なし

３）令和３年度第１回臭気測定について（事務局より説明）

・令和３年度第１回臭気測定立会予定委員

・予定立会者：(内平委員)（森委員）

・第１回臭気測定候補日

・実施日（７月１５日（木））予備日（７月２８日（水））

４）令和３年度海津木苑施設等啓発について　資料.3（事務局より説明）

【意見】

委員　：　新規採用職員人権問題研修に１７名の参加があり、感想を読ませていただて、小・中・高・大学と人権問題を何らかの形で勉強をしてきた方たちと想像している。どのように考え方が変わったのか、どのように勉強になったのかをしっかり記入してほしい。感想などの内容が非常に薄い。記入スペースが少ないのなら、作文的なものを書かせていただきたい。

【意見】

委員　：　人権啓発の研修を継続的に行っていることは、大事なことと思っている。今回研修の対象者が古賀市の新規採用職員であることから、今回の人権研修で何を得たのかを具体的にレポートとして提出する必要もあるのではないか。研修の対象者によって、アンケートの集約のやり方、研修内容の構成のやり方、伝え方。通常の業務を行いながら難しいところもあるが、古賀市には経営企画課や人権センター等がある。

そういった課とも意見交換を行い、職員研修は大事と思うので、意義のある研修を行ってほしい。

【意見】

副委員長　：　新規採用職員研修のアンケート内容が現状ではないか。その内容結果を今後に生かすよう、基本的な流れはあるかと思うが、研修内容のパターンを増やし、研修内容を重厚なものにするなど、職員の思いを伝えてはどうか。研修を行う方にも問題があるのではないか。前し尿処理施設からの想いを伝えていってほしい。アンケート内容も変わるのではないか。

【意見】

委員　：　人権問題研修の他に海津木苑の職場体験も取り入れてはどうか。さらに考え方が変わるのではないか。

【意見】

委員　：　古賀市の人権研修は毎年行われている。海津木苑の研修だけでなく、人権全ての研修の方法も考えていかなければならないと思う。アンケ

ートを提出して終わりではなく、ディスカッションやグループワークを取り入れて、より理解が深まるのではないか。人権に関して弱い立場の人たちに寄り添えるのではないか。海津木苑だけの人権研修ではなく、古賀市全体の人権研修を考えていかなければいけない。

報告事項（事務局より説明）

・古賀市汚泥再生処理センター海津木苑（仮称）について

・古賀市次期し尿処理施設に関する事前打ち合わせ（第 28 回）5 月 13 日（木）

【質疑】

委員　：　今回落札された業者 Hitz 日立造船株式会社九州支社の実績等教えていただきたい。

意見だが、福津市うみがめ課に海津木苑の研修について、今回の意見を基に通常の研修を行うのではなく、３年後海津木苑を利用する職員になるので、重厚な意義のある研修を行っていただきたい。

【答弁】

海津木苑係長　：　Hitz 日立造船株式会社九州支社の実績だが、今回建設予定の施設の処理方式の高負荷脱窒素処理方式では日本一の実績を誇る。現在建設中の直方市、佐賀県杵東地区に実績がある。

その他（事務局より説明）

・「施設等啓発」研修スライド説明

・オンラインによる施設見学デモンストレーション

改善点

・移動中の画面の工夫。（次の場所がわかる画面等）

・レポーターとの質疑ができるように工夫。

16 時 45 分　閉会

以上

この会議録が正確であることを証明するため、会議録署名人として次に署名捺印する。

令和３年　　　月　　　日

委員長　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

委員長の指名する　　　　　　　　　　　　　　印
出席委員